

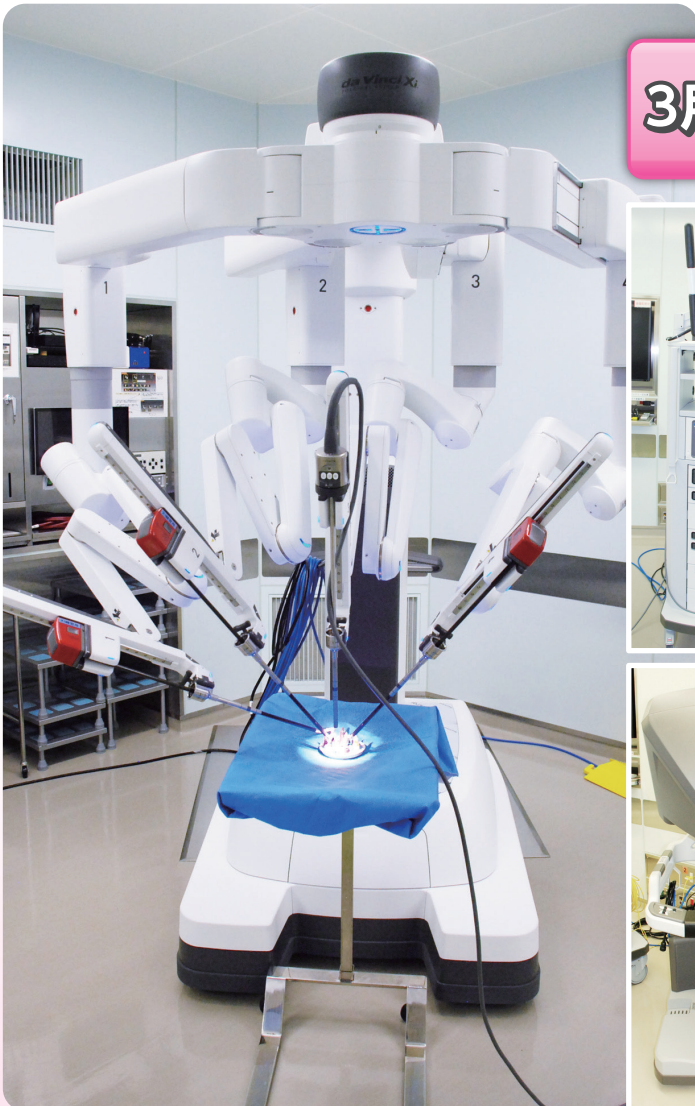
中国・四国
地方初

患者さんへの負担が少ないロボット手術 「ダヴィンチ」2台体制へ

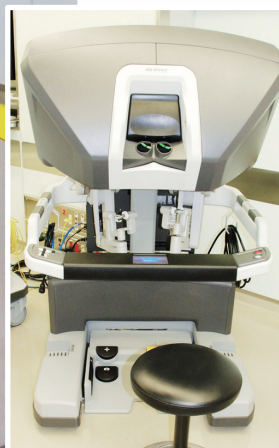


亭島准教授が「ダヴィンチ」について説明

3月5日 記者説明会 & 体験会開催



イベントホールでの体験会



バーチャルロボット手術体験

息をのむほどに高精細な内視鏡手術ロボット 中国四国地方で 初めて2台体制へ



腎泌尿器科教授 松原 昭郎

■ 手術支援ロボット「ダヴィンチ」とは

手術支援ロボット「ダヴィンチ」とは執刀医の手先の動きを4本のロボットアームを介して忠実に再現する装置のことです。カメラ、メス、鉗子(モノをつかんだり牽引したりする器具)をアームに取り付け、お腹に開けた直径数mmの穴から体内に入れて執刀医が離れた場所から操作します。カメラを通して見る鮮明な立体画像は、まるでお腹に直接、目を入れてのぞき込んでいるかのようにリアルです。また、ハサミや鉗子は指先の操作で自由に曲げることができるため、まるで自分の両手をお腹に入れて操作しているかのような感覚です。しかも、手の震えは吸収されて先端がぶれないため、手元が狂うことはありません。細かな神経や血管を傷つけなくてすむため、出血が少なく、悪い部分だけ正確に取り除くことができ、術後回復が早いのが特徴です。詳しくは、泌尿器科オリジナルホームページへ。

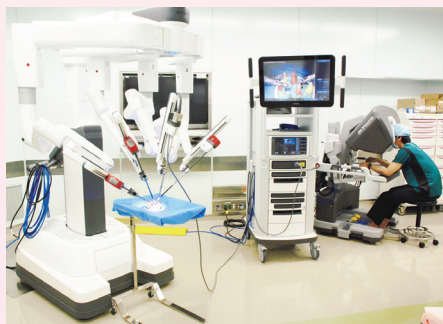
(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/urology/8-tokuchou.html#RALP>)

■ 中国四国地方で初めて導入

広島大学病院では2010年3月、中国四国地方で初めてこの手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入しました。2017年2月までに泌尿器科の行った手術件数は529件(前立腺がん475、腎細胞がん47、膀胱がん7)に達し、手術件数全国ランキングは国公立大学病院中4位となっています(2014年、2015年)。また、この豊富な実績と高い技術力が評価され、2013年にはロボット手術症例見学サイトに認定されました。これまでに多くの執刀医、手術スタッフが見学に訪れています。

■ 2台体制のメリットを活かす

そして、2017年1月からは、この手術支援ロボットを2台に増設し、本格的に稼働させました。2台体制となるのは中国四国地区では初めてのことです。2台体制になることで手術の待機時間が減少すること、万一の機器の不具合時に早急に対応できること、さまざまな領域のロボット手術が同時に行えることなど多くのメリットが期待されています。今回、新たに導入した機種は「ダヴィンチXi」です。このシステムではアーム構造が改良されています。この新たな構造により、操作性が飛躍的に高まり、腹部や胸部など手術部位への様々な角度からのアクセ



新導入機種「ダヴィンチ Xi」

スが可能となりました。また、アームがスリム化したことにより、アームの干渉が低減し、より精密な手術が可能になりました。腎細胞がん手術では、これまで難しかった場所や大きいサイズのがんにも対応が可能となります。また、泌尿器領域以外にも手術支援ロボットの恩恵を受けるがん手術の種類が増えると予想されます。保険適用は、今のところ前立腺がんと腎細胞がんですが、今後は消化器外科、呼吸器外科、婦人科などの領域にも、患者さんへの負担が少ないロボット手術を拡げていきたいと考えています。お問い合わせは、広島大学病院泌尿器科(082-257-5474 平日13:00~17:00)へどうぞ。

■ 手術支援ロボット「ダヴィンチ」2台体制へ ～中国四国地方で初～

広島大学病院では、手術支援ロボット「ダヴィンチ」を1台から2台へと増設し、1月中旬から本格稼働を始めました。「ダヴィンチ」が2台体制となるのは、中国四国地方の病院では初めてのことです。

本院では平成29年3月5日(日)、記者説明会を行うと共に「ダヴィンチ」(手術室)をマスコミに公開しました。

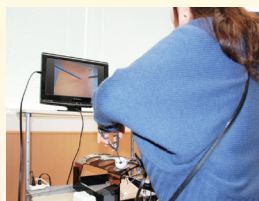


記者説明会 松原教授(左) 亭島准教授

「ダヴィンチ」が2台体制となることで、手術の待機時間が減少すること、万が一のロボット機器の不具合時に対応が可能であること、泌尿器科以外の領域でもロボット支援手術が同時に施行できることなど、多くのメリットが期待されています。今後は、泌尿器科領域のみならず、消化器外科、婦人科、呼吸器外科の領域などへも、患者さんへの負担が少ないロボット支援手術を拡げていきたいと考えています。

■ ふれあい「ロボット手術」体験会を開催

「ダヴィンチ2台体制」の記者説明会と同じ5日、一般市民の方に手術支援ロボットなどに触れ、操作してもらう体験会を開きました。会場の診療棟3階のイベントホールには、これまで実際に手術で使用されてきた「ダヴィンチ」を操作する体験や手術シミュレータによるバーチャルロボット手術体験、トレーニングボックスによる腹腔鏡手術体験などのコーナーがあり、子どもからお年寄りまでおよそ80人が挑みました。弟と参加した中学2年の男子生徒は「腹腔鏡による手術より、ダヴィンチの方が思ったより簡単でした。本当に楽しかったです」また、「ダヴィンチの3D画像の美しさに驚きました」「ロボット技術の進化と発展に期待します」などの声も聞かれました。



腹腔鏡手術体験



「ダヴィンチ」の操作体験

サンフレとのコラボ てんかん啓発活動

広島大学病院(てんかんセンター)は、平成29年3月4日(土)エディオンスタジアム広島で、てんかん疾患啓発活動の第2弾を行いました。世界的なてんかん疾患啓発活動の日「パープルデー」(3月26日)を前に、紫がチームカラーのサンフレッチェ広島とのコラボレーション企画です。



寄せ書きの応援メッセージ



啓発活動に参加した皆さん

スタジアムのお祭り広場に啓発ブースを設置、医療関係者やてんかん協会のメンバーなど30人余りが参加して、サンチェ君などをあしらった2種類の缶バッジやてんかんを説明するチラシなどを配布。サンフレ選手のメッセージ入りの横断幕には、多くのサポーターがてんかんへの思いやサンフレッチェへの激励メッセージを書きこんでいました。また、試合前にはスタジアムの大型映像装置で、青山敏弘、千葉和彦両選手のてんかん啓発メッセージも放映されました。

広島大学病院(平成27年広島県てんかん診療拠点機関に指定)がサンフレッチェ広島とコラボレーションすることで、一人でも多くのサポーターやそのご家族に、てんかんに対する正しい理解を持っていただき、てんかん患者さんが過ごしやすい社会の実現をめざしています。



啓発活動の様子

患者満足度調査

概ね高い満足度

昨年に引き続き「待ち時間」「駐車場」には厳しい声

2016年11月に実施した患者満足度調査の結果、「満足」及び「普通」という評価が全てのジャンルで90%を超えました。その一方で、待ち時間や駐車場については不満の声も目立ちました。

調査は外来患者さん656人、11月中に退院された入院患者さん1,123人を対象にアンケート方式で実施しました。回収率は外来98.3%、入院42.3%でした。

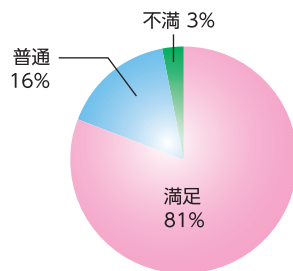
結果のあらましは次のとおりです。

外 来

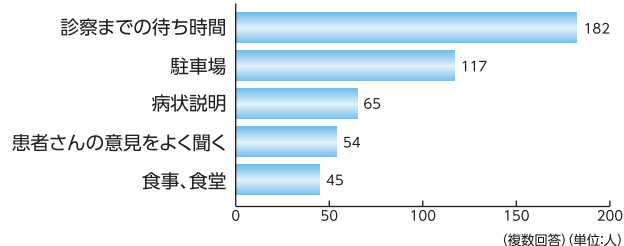
「施設・設備」「受付及び会計窓口」「医師の診察」「歯科医師の診察」「看護職員の対応」「歯科衛生士の対応」「検査・リハビリ等」「全般」の8ジャンルに分けて質問しました。全てのジャンルで「満足」「普通」の合計が90%を上回りました。

個別の項目では「当院にきて良かったと思いますか」について、97.3%の患者さんから「満足」「普通」の評価をいただきました。一方、「診察までの待ち時間」の満足度は34.7%、「会計の待ち時間」は62.5%にとどまり、待ち時間の長さに対する厳しい視線がうかがえました。

特に改善が必要な項目のトップ3は①診察までの待ち時間②駐車場③病状説明でした。



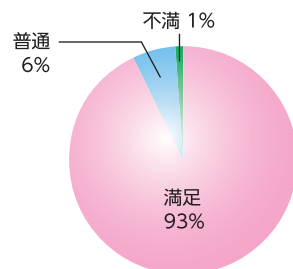
「特に改善が必要である」と思われる項目（上位5項目）



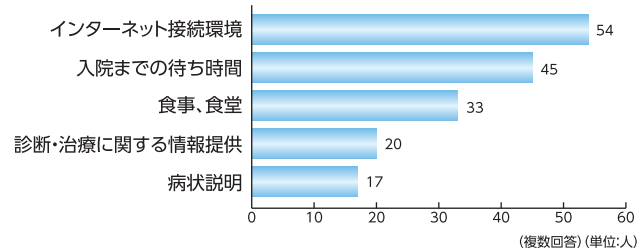
入 院

「入退院」「施設・入院生活」「食事」「医師」「看護職員」「その他の職員」「全般」に分けた7ジャンル全てで「満足」「普通」が90%を上回りました。個別項目の中でとりわけ「満足」の割合が多かったのは「当院にきて良かったと思う」(95.7%)「医師の対応(言葉づかい・態度)、身だしなみはよい」(92.8%)、「看護職員の話しやすい雰囲気」(92.8%)でした。

改善が必要と思われる項目では「インターネット接続環境」が最も多く、「入院までの待ち時間」が続きました。



「特に改善が必要である」と思われる項目（上位5項目）



たくさんの自由記述も含め、貴重なご意見をありがとうございました。皆さまが利用しやすい病院となるよう、施設・設備及び待ち時間の改善に向けて職員一同努めてまいります。

栄養管理部
情報

朝食を 食べましょう!



担当した管理栄養士

朝ごはんは、**1日の始まりに欠かせない大切なエネルギー源**です。しっかり朝ごはんを食べて1日を元気にスタートさせましょう!

朝ごはんの役割

体温の上昇・エネルギー補給



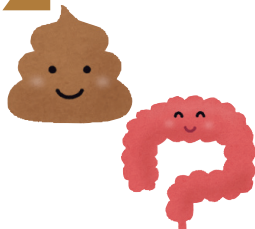
睡眠中に下がった体温を上げ、体を目覚めさせる。
→朝から元気に過ごすことができます。

脳の活性化



エネルギーが脳に供給される。
→やる気、集中力アップにつながります。

排便の促進



食べ物をとることで、消化管が活動を開始する。
→排便を促し、便秘を防ぎます。

肥満の予防



朝食を抜くと、空腹感から他の食事の時に量が増えてしまう。
→肥満につながりやすいと言われています。

バランスの良い朝食を食べよう

主食(炭水化物)、主菜(たんぱく質)、副菜(野菜)の揃った朝ごはんを心がけましょう。

ご飯にもパンにもぴったり! 鶏肉と野菜のカレーミルクスープ!

材料(1人分)

鶏もも肉 …… 一口大カット3切(60g)
バター …… 小さじ1(4g)
牛乳 …… 60cc
鶏がらだし …… 80cc
ブロッコリー …… 3切(30g)
しめじ …… 一握り(30g)
にんじん …… 乱切り5切(30g)
カレー粉 …… 2g
塩 …… 少々
こしょう …… 少々
片栗粉 …… 3g

作り方

- ①鍋にバターを溶かし、鶏肉を炒める。
- ②鶏がらだしと牛乳、にんじんを加え、煮る。
- ③沸騰したら、残りの具材を加え、柔らかくなるまで煮る。
- ④火が通ったら、カレー粉を加える。
- ⑤塩とこしょうで味を整える。
- ⑥鍋に水溶き片栗粉を加え、とろみをつける。



病院からのお知らせ

院内がん登録 広島大学病院のがん診療の実績を更新しました

2015年の広島大学病院のがん診療の実績をがん治療センターのホームページで紹介をしています

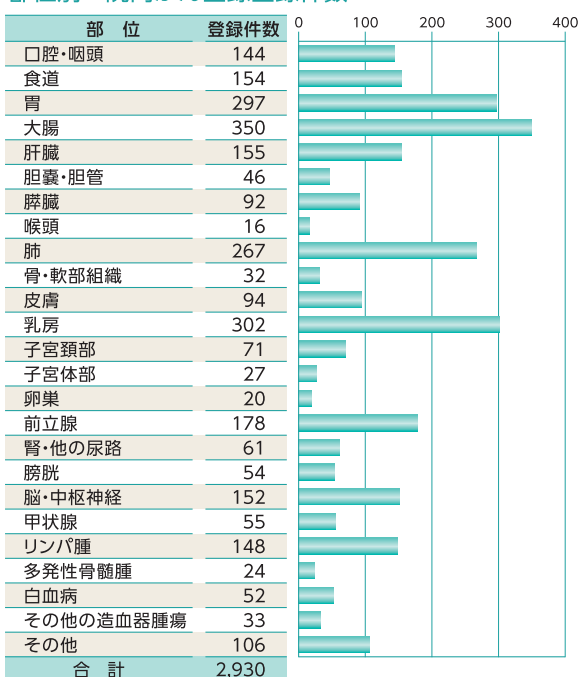
院内がん登録とは？

病院を受診された外来患者さん、入院患者さんを問わず、全てのがんについて診断・治療に関する情報を集め、整理・保管し、集計・解析をする仕組みです。がん患者さんとそのご家族に対して医療機関の選択を支援する為の情報です。

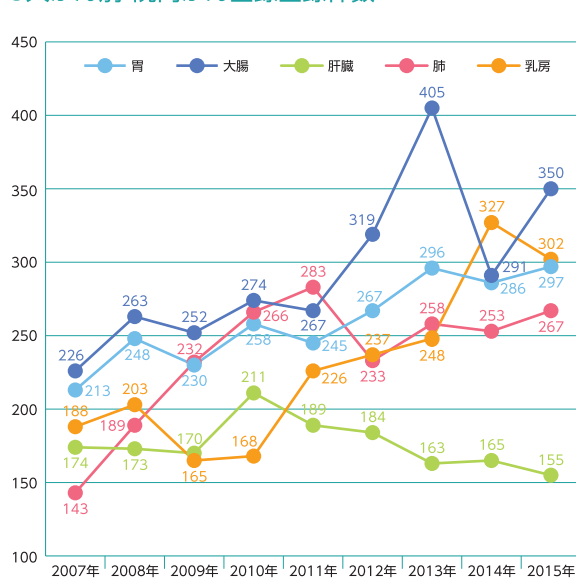
国立がん研究センターの研修を修了した、がん登録実務者が登録をしています。

「広島大学病院 院内がん登録」で検索 https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/cancer/innaigan_touroku

部位別 院内がん登録登録件数 (2015年)



5大がん別・院内がん登録登録件数 (2007年～2015年)



※がん診療連携拠点病院院内がん登録標準登録様式(2006年版修正版)に準拠
当該腫瘍初診日及び診断日:2007年1月1日～2015年12月31日
1腫瘍1登録
全部位(外来・入院全症例 部位についてはICD-O3により分類)

平成29年4月1日～国際リンパ浮腫治療センター開設!! 問い合わせ 082-257-1985

催しのご案内

(2017年4月～6月)

がん治療を支える

患者サロン

場所：臨床管理棟3階 3F2会議室
13:30～14:30

がん患者の在宅療養について

4月20日(木) 講師：秋本クリニック院長 秋本 悦志

婦人科がんの基礎と治療について

5月18日(木) 講師：産科婦人科医師 平田 英司

抗がん薬の副作用と生活について

6月15日(木) 講師：がん化学療法看護認定看護師 清本 美由紀

患者・家族が同じ目線で

がん患者おしゃべり会

4月25日(火) 13:30～14:30

5月23日(火) 13:30～14:30

6月27日(火) 13:30～14:30

場所：診療棟2階 健康情報プラザ

いずれも問い合わせは：
がん相談支援センター 082-257-1525